

もう第2号。え？早すぎるって？まあ不定期ですから。次号の間隔があくかもしれませんし、それはわかりません（笑）イベントなどがあるときはその前にニュースを出そうと思っています。第5回弾きっ子親睦パーティーも決まったので、別紙でお知らせを出しましたが、ニュースでも紹介しようと思います。

■前回の左指練習の続き

左指の練習について第1号で少し書きましたが、今回もその続きとして他の練習方法を紹介しようと思います。

前回書いたパターン練習の他にもいろんな練習方法があります。こういった練習の目的は左指が自由に動かせるようになること、【指の独立】を目指したものです。

今回は4本の指ではなく、2本ずつを取り出してやってみましょう。例はTAB譜を使用します。TAB譜の見方がわからない方は、後ほど解説を書きますのでそちらを参照してください。

TAB譜では人差し指=人、中指=中、薬指=薬、小指=小。と表示していきます。下の譜をご覧ください。

	人	中	人	中	人	中	人	中	人	中	人	中	人	中	人	中				
T	1	2	2	3	3	4	4	5	5	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10	11
A																				
B																				

この譜は、左指は人差し指と中指しか使っていません。1弦の1フレットを人差し指で押さえて音を出す。次に2フレットを中指で押さえて音を出す。次は2フレットを人差し指で押さえて、次は3フレットを中指で、次は4フレット・・・あとは同じように11フレットまで弾いていきましょう。弾く指（右指）はどの指でも結構です。ピックでも構いません。指で弾く場合は、違う指を交互に使っていけると◎
 ピックの場合は、ダウンとアップを交互に使っていけると◎
 テンポはゆっくりと、メトロノームを使ってやると良いですね。指がバタバタ動きすぎないように注意しながらやってみてください。

すんなり弾けましたか？人差し指と中指はすんなりできた方も多いかもれません。それでは違う指でやってみましょう。人差し指を中指に、中指を薬指に変えてやってみましょう。同様に薬指と小指でもやってみてください。

第1号でお話した指の動きなどに関することは常に意識してください。【気づく・考える・研究する】を習慣化してしまうまで意識できると練習の内容も濃くなるはずですよ。

さて、2本の指でこのような移動になると、指の動きとしては4本の時より忙しくなってきます。よりすばやい動きが必要になってくるのです。指を離れたらすぐ移動して次を押さえる。テンポが速くなると無駄な動きをしてる暇はなくなります。正確な位置に移動させるという事を意識しましょう。

では、次の譜を見てください。

	人	中	人	中	人	中	人	中	人	中	人	中	人	中	人	中
T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
A																
B																

このような動きになると忙しさは一段と高まります。これも押さえる指を変えてやってみましょう。

何度も同じことを書いてますが、練習するときは脱力を意識しましょう。指の動きを細かく理解しましょう。弾くことに一生懸命になったり、楽譜に夢中になってしまうとどうしても脱力など他のことを忘れてしまいます。ですのでこの紙面でもしつこく書いていこうと思っています。たくさん書いていても、『しつこい！』って言わないでくださいね・・・

他にもいろんな練習法がありますが、前号と今号で紹介したものだけでもいろんなバリエーションを作ってどこまでも難しくすることが可能です。今後もいろいろと紹介していきますが、ひとまず左指に関しては今回で終わります。

■TAB譜の読み方

TAB譜とは、ギターに限らずいろんな楽器に用いられます。一般的にある五線譜ができる前からあったものです。その楽器特有の読み方なのでギターのTAB譜を他の楽器で読む事はできません。ちなみにTAB(タブ)とは、タブラチュアの略です。それでは、下の譜で見てください。

T	1	—	1弦	線は6本。上から1弦2弦・・・
A	0	—	2弦	一番下の線が6弦です。その線の上に数字がきます。1だったらその弦の1フレットを弾きましょう。0だったら何も押さえずに弾きます。
B		—	3弦	
		—	4弦	
		—	5弦	
		—	6弦	

TAB譜は、ドレミで表すのではなく、押さえる場所を表したものです。できればTAB譜よりも五線譜を読めたほうが良いですが、曲ではなく指練習などの場合はTAB譜のほうが読みやすいかもしれません。両方読めるようにしておきましょう。

次回は、【客観的に見る・小人を作ろう！】をテーマにしたいと思います。小人ってなんでしょうね？笑 (T.Sakai)